

まこと通信

社会民主党
田川市議会議員

vol.
3号



佐々木まこと後援会ニュース



佐々木まこと後援会事務所 〒826-0044 田川市大字位登876
TEL:0947-42-1866 FAX:0947-48-1501 mail:makt56@hotmail.com



朝日新聞本社コラムニスト
早野 透氏と

佐々木まことよりごあいさつ

7月に行われた参議院選挙では、社民党に対する多大なるご支援をいただき、誠にありがとうございました。選挙区の「かないわ秀郎」は惜敗いたしました。比例区「山内トクシン」は当選を果たすことができました。今後も平和と民主主義を地域から守っていくために、全力で頑張っております。

9月議会でも一般質問を行い、また平成18年度決算を審査する決算審査特別委員会において、私は委員としてしっかりチェックを行いました。

財政状況はますます厳しい状態が続いています。そのなかで田川市の税金の使い方はまだまだ改善をすべき多くの課題があります。常に市民の目線に立ち、おかしいものはおかしいと言える、そして政策提言がしっかりできる議員として全力を挙げて頑張ります。

市議会議員となってまだ半年。まだまだ不慣れな部分もありますが、若さと行動力で市政を変えてまいります。今後ともご指導、ご鞭撻のほど、よろしく願いいたします。

田川市議会議員 佐々木 まこと



後援会長のひとりごと

この夏は、異常に暑く、残暑も長く厳しかった。10月もなかばになって、朝夕の冷えこみが急に訪れ、あわてて衣更えをする有様である。故人は「秋来ぬと 目にはさやかに 見えるとも風の音にぞ おどろかれぬ」と微妙な季節の移ろいを楽しんだようだが、今年ばかりは、その情緒がない。地球温暖化に警鐘を鳴らし続けるゴア前副大統領にノーベル平和賞が贈られた。随分前に見た映画「猿の惑星」の最後に場面、砂の中から顔を出した自由の女神像のことが生々しく、そして切実に思い出されるのは、私だけだろうか。このかけがえのない奇跡の星を守り続ける人間の英知が、今ほど望まれる時はない。

本号から、後援会長のコラム欄が設けられ、時々、駄文でお目にかかることになりました。笑って読み流してください。先の4月の選挙では、皆さんに多大なご支援を戴き、有難うございました。允議員も、すでに2回、本会議での登壇も経験し、それなりの成長を見せているように思われます。若い情熱と謙虚な態度で活躍してくれること後援会一同期待しているところです。

後援会長 大間 勝徳

この『まこと通信』は私の活動や田川市政に対する懸案事項を掲載することで、市議会議員や議会、そして政治を身近に感じてもらいたいという思いで、定例議会後毎に発行しているものです。

市議会議員がどのような活動をしているのか、田川市が今どのような問題を抱えているのか、などをこの紙面でご理解していただければと思います。また「まこと通信」に関するご質問・ご意見・ご感想もお気軽にお寄せください。

市民相談・無料法律相談 受け付けています。

市民相談、労働相談など各種相談をいつでも受け付けています。また月1回、弁護士による無料法律相談も行っていますので、お気軽に電話、メールでお問い合わせください。

連絡先 0947-42-1866
mail:makt56@hotmail.com

9月議会 一般質問



1 入札改革について

質問 先日も行橋市で談合事件が発生し逮捕者がでているなど、談合は大きな社会問題になっている。だからこそ田川市でも談合が起きない仕組みづくりが求められると思う。

その点も踏まえ①本市の落札額の現状は平成18年度平均97.17%となっているが、この数字をどうみるのか。②旧産炭地支援のための就労事業については予定価格を公表していないが今後公表する気があるのか。③一般競争入札は現在本市では行っていない。その中で本市作成の「入札・契約制度の改革方針」では条件付一般競争入札の導入を目指しているが、具体的な条件を想定しているのか。

③条件付一般競争入札は、建設工事に関して平成19年度までに答えを出し、平成20年度中には試行的に実施したい。入札改革全体としては本年度から平成23年度までの5カ年のスケジュールで進めていきたい。

再質問 ①「入札・契約制度の改革方針」の検討状況一覧では、半数近くで検討という文字すら入っていない。検討もしないということか。②現場説明会は改革方針では今年度中に廃止をする予定になっているがいつまでに行うのか③格付け等級区分の緩和を総務省も行うように通知が来ているはずだ。行う予定はあるのか④ペーパーカンパニーの排除を実施したとなっているが、結果どうだったのか。

答弁 (市長)入札率の数字だけを見てどうこうは言えない。地場業者育成やダンピングに対する懸念もある。

(建設経済部長)①入札率の数字だけを見てどういう結果か判断するのは困難であるが、「最小の経費で最大の効果」を求めるためにも入札改革は必要であると思っている。②就労事業の予定価格の公表は、そのほかの部分も踏まえ今後改革方針をもとに進めていきたい。

再答弁 (建設経済部長)①実務者段階のワーキンググループを組織して行っている。平成19年度中にはある程度の答えを出していくし、それらも検討していく。②今年度中には行う予定である。③現在は金額に応じて指名業者を決めている。まだ結論には至っていないが、多くの業者が入ることが適正な競争ができるという認識である④20社を調査し、1社を指導している。

現状は... 田川市の入札システムは、一般競争入札の制度自体はありますが、過去には田川市立病院の1例しかなく、基本的にはすべて指名競争入札で行われています。

指名競争入札では指名業者がランク付けされ、ランクごとに入札を行います。AからDまでの業者数は現在非公表ですが、おおむね10数社から20数社となっています。どの業者がどの等級に属しているかは、現在非公表となっています。

現在の入札・契約関係事務の流れは、事業計画→起工→業者指名→現場説明会→入札会→契約→施工→竣工という流れになっています。

しかし近年の談合問題に対し、田川市でも取り組みを始めています。まず契約業務の一元化(しかし全ての事務ではありません)する、「契約対策室」が発足その後「入札・契約制度の改革方針」を打ち出し、平成23年度までに完全実施を目指しています。

具体的には、①一般競争入札の拡大②電子入札・郵便入札の検討③総合評価落札方式の導入④格付け業種の見直し、など29の検討課題をあげています。

一般質問で指摘した内容をしっかり検討・実施することや、29の検討課題を一つ一つ実現していくことで、公正で公平であると胸を張って言える入札制度に変えていかなければなりません。

区分	予定価格	等級
土木工事	5,000万円以上	A
	2,000万円以上5,000万円未満	B
	500万円以上2,000万円未満	C
	500万円未満	D
建築工事	8,000万円以上	A
	1,000万円以上8,000万円未満	B
	1,000万円未満	C



2 小児科医療の取り組みについて

質問 国では2次医療圏(田川市では田川市郡8市町村にあたる)の全てで平日夜間の小児科救急体制の整備を目指している。また先日も総務省が厚生労働省に対し、小児科救急体制について新たな対策を検討するよう勧告したとのこと。

しかし田川地域では休日救急があるだけで、平日夜間の取り組みがされていない。田川市は2次医療圏の中心となる田川市立病院をもつ。子育て世代が安心して暮らせるためには小児救急体制は必要不可欠でもあり、田川市が率先して早急な取り組みを求める。

答弁 (市長)最もだが、医師確保が困難な状況になっている。医師確保には不眠不休で取り組んでいるところである。

(福祉部長)①平日夜間の小児科救急体制を組むのは、

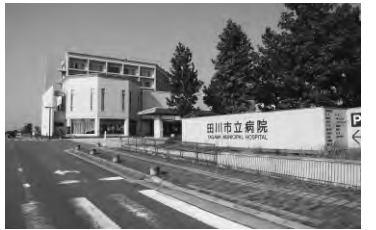
田川地区の小児科医師のみでは困難である。また田川地区の小児科医師が飯塚病院に医療支援を行っている。今後は、福岡県が行っている夜間の電話相談の周知徹底を行うことから、進めていきたい。

再質問 小児医療の現状が厳しいのは分かっているが、では行政としてどのような努力をしてきて、その結果どうなのかというのをぜひ示してほしい。実際、大分県中津市民病院は医師確保のため、福岡県豊前市を含めた県境を超えての対策研究会を立ち上げている。まずは対策を研究するための会を早急につくってほしい。そしてこの問題を考えていく上でも思ったのが、地域医療を政策的に扱う部署がどこなのか明確ではないこと。ぜひその点も改善してほしい。

現状は...

田川市立病院には移転・新築後、最も多い時期で4名の小児科医師が配置されていました。しかし、地方病院の医師確保の根幹を握っていた研修医制度が変わり、地方病院の医師の確保が困難になります。そのため田川市立病院の小児科医師は現在2名と半減している状況です。

医師の確保は非常に困難な状態が続いていますが、だからこそ医師確保に向けた様々な取り組みを早急に組織的に行うことが必要です。一例としては、新人研修医に対して説明会を開いたり、田川市立病院の見学会を行うなど積極的な求人活動を行うことや、給与・労働環境をはじめ、医師社宅の充実など住環境など公私にわたる環境整備を行うことも検討すべきと考えます。



3 市税のコンビニ収納について

質問 市税の納付は現在銀行・郵便局等平日昼間だけの金融機関に頼っているのが現状である。これでは生活様式の多様化に対応していない。福岡県ではすでに自動車税のコンビニ納付を可能とした。コンビニ納付は、生活様式の多様化にしっかり対応するためにも必須であると思うし、納期内納付率の増加も期待できる。本市においてもコンビニで市税の支払いができるようにしてほしい。

答弁 (市長)地方税の収納環境の整備は必要だが一長一短ある。費用対効果を考え、田川市にあった対策をしていきたい。

(総務部長)行うこと自体は可能である。しかし、コンビニ納付に対する委託料が高いなどの問題もある。そういう点も踏まえ検討していきたい。

現状は...

生活様式の多様化に伴い、夜間も開いているコンビニエンスストアの利用は高まっています。近年では銀行のATMも準備されたほか、ライブや舞台などのチケット、宅配便など様々なサービスが行われています。

現在、市税4税(市県民税、固定資産税・都市計画税、軽自動車税、国民健康保険税)のコンビニ支払いは、都市部を中心に現在一部の自治体で始まっており、多くの市民が利用しています。

生活様式が多様化し、平日昼間に税金の支払いができない家庭・個人が増えています。納税環境の整備のためにも、ぜひ市税のコンビニ支払いを進めてほしいと思います。また同時に市税のクレジットカード決済なども求めていきたいと思っています。これが実現できれば、かなりカードのポイントもたまりやすくなり、とてもお得です。



水道課ではすでにコンビニ支払いが可能になっています。

次のページも一般質問が続きます。

4 猪位金診療所の今後について

質問 平成17年8月に長年猪位金診療所を守ってこられた倉田先生が急逝され、その後臨時的に診療が続けられてきたが、同年12月には完全休診となった。猪位金診療所は、猪位金村の時代から長年猪位金地域の医療の拠点を担ってきた。だからこそ休診は地域にとっても大きな打撃となっている。

しかし休診から1年9ヶ月たった今日を見ても、猪位金診療所の今後についてしっかりした議論がされていないのが現状である。執行部としては今後猪位金診療所のあり方をどのようにしていくのか、まだお考えがないのであれば、今後どのような形で議論喚起していくのかなどについて聞きたい。

答弁 (市長) 診療所長がお亡くなりになって、医師が確保されていない。診療所の将来像については機をとらえて地元猪位金地区の方々と十分に議論をしていきたい。

現在も休診状態が続いているのが現状ですが、執行部としては今後の方針を具体的には決めていません。猪位金診療所は長年、地元猪位金の最も重要な公共施設でしたし、今もその思いを猪位金の住民の多くが持っています。今後も猪位金の地域住民の意見を十分に踏まえ、診療所の再開や、再開しない場合であれば跡地利用の検討など、様々な観点で議論を深めていきたいと思っています。

現状は... 猪位金診療所は長年、地元猪位金の最も重要な公共施設でしたし、今もその思いを猪位金の住民の多くが持っています。今後も猪位金の地域住民の意見を十分に踏まえ、診療所の再開や、再開しない場合であれば跡地利用の検討など、様々な観点で議論を深めていきたいと思っています。



9月補正予算の主な内容

事業内容	補正額	既定額	合計
企業誘致実務研修1名(福岡県大阪事務所へ派遣)、税務職員実務研修1名(福岡県総務部税務課へ派遣)の必要経費	240万円	618万円	859万円
地域PR事業の一環として、東京都千代田区で行う、地域プロモーション事業の費用	70万円	0万円	70万円
鉄砲町の急傾斜地崩壊対策のための調査・測量費	800万円	0万円	800万円
田川小学校急傾斜地崩壊防止工事に関する損害賠償請求訴訟にかかる顧問弁護士委託	105万円	0万円	105万円
田川中学校、猪位金中学校の耐震改修に関する調査等委託料(追加分)	300万円	1000万円	1300万円
石炭歴史博物館野外展示場への屋根の設置工事費	6027万円	340万円	6367万円
星美台団地4区画の契約解除による返還金	2913万円	0万円	2913万円
武道館のあり方についての市民アンケート実施に伴う郵送料	32万円	0万円	32万円
8小学校、4中学校の計12校にある焼却炉の処分にかかる委託料	945万円	3206万円	4151万円

※千円以下は掲載していませんが、合計すると1万円を超える場合もあるため、一部補正額と規定額の合計に差が出ています。

9月補正予算の合計は、2億6098万円となっており、これによって平成19年度予算の既定額との合計で254億9697万円となりました。

具体的には以下のとおりです。特に大きな予算となったのは、田川石炭・歴史博物館の野外展示場の屋根設置費でした。これは費用面で高額なので、本当に必要なのかどうか、もっと削減できるのではないかと指摘し、今後の計画に指摘内容を生かしてほしいと要望しました。

財政状況が厳しい中で考えなければいけないのは「あったらいい」と「なくてはならない」の違いをしっかりと見極める力だと思っています。「あったらいい」のであれば、「ディズニーランド誘致計画」も、もっともらしい理由をつけて計画することは十分に可能です。限られた予算が本当に有効に、かつ効率的に使われているかどうかを今後もしっかりとチェックしていきたいと思っています。

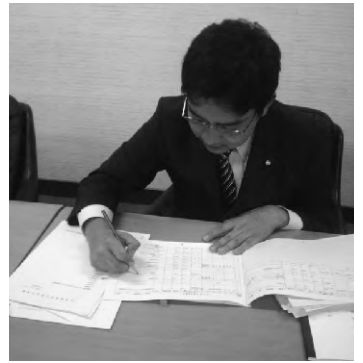
平成18年度決算の主な内容

決算審査特別委員会とは、平成18年度の決算状況について、歳入が当初予定通り確保されたのか、歳出においては計画通り使われたか、またその使い道が適正であったかなどを審査する委員会です。

「なぜ平成18年度の決算を今頃？」とお思いでしょうか、

①会計年度を3月31日で閉鎖をする → ②3月31日までの支払未了分は、4月1日から5月31日までの、2ヶ月間で完了。これを出納閉鎖と言う → ③6月以降決算書の作成を開始 → ④市長宛に提出、監査委員の審査を受ける → ⑤9月定例議会に上程、その後決算審査特別委員会で審議し9月議会最終日に認定

という段取りのため、9月までずれこむことになるのです。



決算審査の様子

市役所庁舎の清掃委託料 1636万円

1ヶ月あたりの約136万円の掃除代が市役所だけにかかっていることとなります。平成16年度では1634万円と横ばいですが、平成17年度では900万円と大きな開きが出ています。他にも清掃委託料は、市民会館、美術館、図書館など各公共施設で計上されています。

浄化槽設置費補助金 3562万円

各家庭に合併浄化槽を設置する目的で使われる補助金で、平成4年より始まりました。5人槽から10人槽までを対象としており、平成18年度までに計1628基が設置されています。

市税の不納欠損(帳消し)額 1億9527万円

内訳は、個人市民税1337万円、法人市民税112万円、固定資産税1億2416万円、軽自動車税253万円、国民健康保険税5407万円となっています。10年前にあたる平成9年の不納欠損額7257万円に比べると約2.7倍の格差があり、平成18年度は個々10年で最も多い不納欠損額でした。

市営造林管理作業委託料 919万円

今回の作業では全市有林220ヘクタール中、猪位金地区8ヘクタール、上弓削田地区8.2ヘクタールで行われました。現在多くの市有林で伐採可能な年数になっていますが、伐採費用の高騰や、木材価格の低迷で本格的な伐採は行われていないのが現状です。

その他指摘事項(主な項目のみ)

- ①税徴収、公営住宅の使用料、住宅新築資金等貸付金の返還等において、過年度分の徴収率が極端に低いことを指摘。過年度分の徴収を強化することで、納税意識を高めるよう要望しました。
- ②これまでDV相談等を受け付ける「婦人相談事業」の「婦人」の名称を変更するよう要望しました。
- ③図書館の図書購入費803万円に対して、図書館の清掃業務委託料が430万円というのは、バランスに欠けていると指摘しました。
- ④生活保護の不正受給が3360万円にも上ることから、今後の対策を強化するよう指摘しました(この問題はその後新聞でも報道されています)。
- ⑤市立幼稚園・保育園の遊具などの備品購入費が少ないことを指摘。今後増額するよう要望しました。
- ⑥市職員等の待遇についての苦情を市民から多数寄せられていることから、市独自で待遇研修等を行うよう要望しました。

佐々木まことの西へ東へ!

佐々木まことの活動記

自治体学会総会(8月24日~25日)

自治体職員や議員、研究者などが加入する学会で、私も所属しています。今年の総会は京都府舞鶴市で行われました。分科会では「市民の議会は可能か」を議題に活発な議論がされました。地方分権が進み、新しい取り組みをしている自治体や研究事例が多く出ています。それらの事例をしっかり勉強して、議会活動に生かしていきたいと思います。



社民党青年議員の仲間である仲村未央沖縄市議と

社民党自治体議員団全国会議(8月31日~9月3日)

今年は沖縄県那覇市で開催され、私は福岡県代表として参加をしました。沖縄の平和問題に関する講演や今後の社民党自治体議員団の方針などが議論されました。また歴史教科書書き換えによる「集団自決」の削除の問題は、保守・革新を超えた運動となり、その後11万人の抗議集会に発展、国を動かそうとしています。



福島みずほ党首、辻元清美衆議院議員と

社民党全国青年議員・青年党員合宿交流会(9月8日~9日)

今年で2回目となる集会で、今年は我が福岡県で行われました。全国より社民党の若い仲間が終結し、活発な議論がされました。2日目には福岡市天神で街頭演説をし、社民党への支持を訴えました。

総務文教委員会行政視察(10月17日~19日)

私の所属している総務文教委員会のメンバーとともに、滋賀県甲賀市と大阪府箕面市の2箇所を視察しました。滋賀県甲賀市は「法令遵守の推進条例」を定めている自治体です。行政に対する不当要求行為を、職員の個人単位で解決するのではなく、組織として対応することを定めた条例です。また行政内部において、上司からの命令で明らかな法令違反がある場合は、部下の職員は命令撤回ができるしくみも、全国初の試みです。



大阪府箕面市での行政視察風景

大阪府箕面市は、「箕面市まちづくり理念条例」と山麓保全の取り組みについて視察をしました。「箕面市まちづくり理念条例」は既に制定から10年が経過しており、その間市の審議会委員の原則市民公募の実施、NPO活動への助成など、市民活動がかなり活発になっています。山麓保全の取り組みも同様で、市が約2億円を公益信託する形で山麓保全活動を行っている個人・団体・山林所有者に助成しています。それらの運営もNPOが中心に行っており、今後の活動が注目されます。



大森彌東京大学名誉教授と

ホームページ紹介



毎日更新

佐々木まことの日々の活動をつづるブログ、日進月歩



<http://sasakimakoto.net/>

議員インターン生の感想

今回、私はドットジェイピーという団体からインターン生として佐々木議員に約2ヶ月間お世話になりました。大学では心理学を専攻している私が、このインターンシップに参加した理由は、時間のある夏休みに何かしたいということと、政治に興味があったからです。

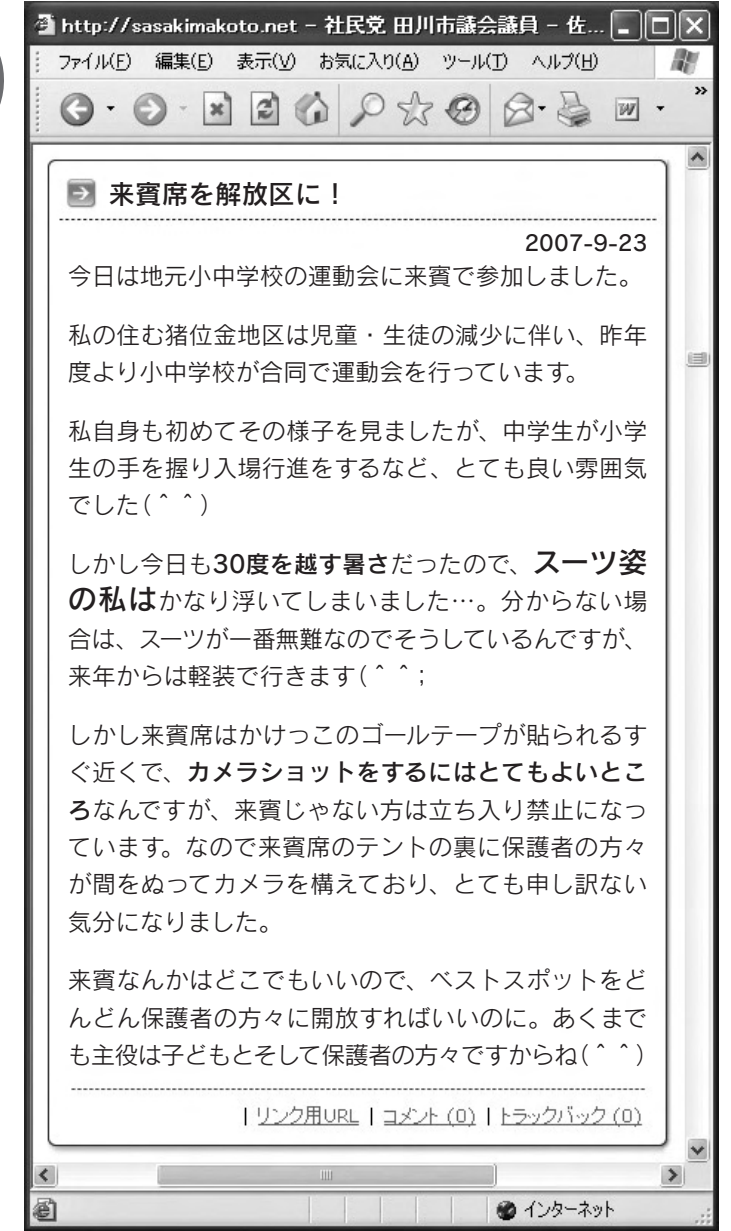
2ヶ月間という短い間でしたが、公立保育所の見学、裁判の傍聴、自治体学会への参加、一般質問の準備、議会・委員会の傍聴、ごみ処理場の見学と私にとっては初めての経験が多く、大変濃い2カ月間でした。

中でも最も印象に残っているのは一般質問の準備です。普通の人なら経験できないことでしょうし、お手伝いをする中で一つの質問をする為にたくさんの資料を集めたり、実際に働いている方に話を聞いたり準備が大変だということがよくわかりました。

インターンを始める前は、議員と呼ばれる人たちが何をしているのか、はっきり言ってよくわかりませんでした。しかし、このインターンを通して議員の仕事の間近で見て、その忙しさに驚きました。ただでさえ忙しい中、私のように政治について何も知らない学生を受け入れていただきましたが、大変ご迷惑をかけたことと思います。

佐々木議員、他の議員の方々、市の職員の方々、佐々木議員のご家族には親切にいただき大変感謝しています。短い間でしたがありがとうございました。

福岡女学院大学3年 白石亜希



佐々木まことの主な活動報告

7月

- 1日 猪位金校区非行防止パレード
参院選行動 (福岡市)
- 2日 京都市出張
- 3日 京都市出張
- 5日 本会議 (最終日)
社民党田川総支部会議
- 6日 社民党支部会議
- 7日 高等学校教職員組合田川支部大会
参院選行動
- 8日 市内一斉清掃参加
参院選行動
- 9日 参院選選対会議
- 10日 農業委員会総会
- 11日 田川地区清掃施設組合議会
総務文教委員会視察
- 12日 参院選公示日
- 13日 田川地区清掃施設組合議会臨時会
- 14日 猪位金小学校ふれあいキャンプ
参院選行動



小学校の給食

- 15日 参院選行動
- 16日 参院選行動
- 17日 参院選行動
- 18日 参院選行動
- 19日 社民党田川総支部会議
参院選行動
- 20日 参院選行動
- 21日 参院選行動
- 22日 参院選行動 (村山富市元首相同行)
- 23日 参院選行動
- 24日 臨時議会
田川地区清掃施設組合議会
- 25日 参院選行動 (田川地区決起集会)
- 26日 参院選行動
- 27日 参院選行動
- 28日 参院選行動
- 29日 参院選後片付け
- 30日 参院選後片付け
- 31日 田川地区清掃施設組合議会



参院選で訴える「かないかわ秀郎」



村山富市元首相とともに



福島みずほ党首とともに

8月

- 1日 議員インターン生受け入れ初日
- 2日 田川市立西保育所視察
社民党田川総支部会議
- 3日 社民党福岡県連常任幹事会
- 5日 TAGAWAエントツライブ
- 7日 社民党福岡県連会議
- 10日 農業委員会総会
- 11日 参院選取敢会 (福岡市)
- 15日 盆踊り



TAGAWAエントツライブ

- 18日 猪位金校区ふれあい夏祭り
- 20日 総務文教委員会
- 23日 選挙応援 (愛知県長久手町)
- 24日 自治体学会総会・研修会 (京都府舞鶴市、～25日)
- 25日 自治体学会総会・研修会
- 26日 弓削田校区夕べの集い
- 27日 福岡県市議会議長会議員研修 (福岡市)
- 28日 社民党田川総支部首長・自治体議員団会議
- 29日 議会運営委員会
- 31日 社民党全国自治体議員団総会 (沖縄県那覇市、～9月3日)

9月

- 1日 社民党全国自治体議員団総会
- 2日 社民党全国自治体議員団総会
- 5日 社民党福岡県連会議
- 7日 議会運営委員会
本会議 (1日目)
社民党福岡県連会議
- 8日 社民党全国青年議員・青年党員合宿交流会 (福岡市)
- 9日 社民党全国青年議員・青年党員合宿交流会
「日本の青空」上映会
- 10日 農業委員会総会
- 12日 コールマイン実行委員会
- 13日 議会運営委員会
本会議 (2日目)



伊波洋一宜野湾市長とともに

- 14日 本会議 (3日目、佐々木発言日)
議会全員協議会
- 16日 社民党福岡県連合県委員会 (福岡市)
早野透・朝日新聞コラムニスト講演会
- 18日 総務文教委員会
- 21日 社民党福岡県連会議
- 22日 猪位金4区敬老会
- 23日 猪位金小・中合同運動会
- 24日 ドットジェイピー政策発表会 (福岡市)
- 25日 社民党福岡県連会議
- 27日 後援会会議
- 28日 議会運営委員会
本会議 (4日目)
- 29日 社民党田川総支部定期大会
- 30日 猪位金校区ふれあい運動会

10月

- 1日 決算審査特別委員会
- 2日 決算審査特別委員会
- 3日 決算審査特別委員会
- 4日 決算審査特別委員会
- 5日 佐々木まこと後援会議会報告
- 8日 市民体育大会開会式
- 10日 農業委員会総会

- 12日 市議会本会議 (5日目 最終日)
社民党県連会議
田川商工会議所女性部パーティー
- 13日 社民党福岡県自治体議員団総会・セミナー
- 17日 総務文教委員会行政視察 (滋賀県甲賀市・大阪府箕面市)
- 18日 総務文教委員会行政視察
- 19日 総務文教委員会行政視察
- 21日 弓削田校区三世代交流地域安全安心街づくり総決起大会